

## ご挨拶

- ①出身地    ②研究内容
- ③趣味      ④好きな言葉



## 就任のご挨拶

田中 暁生    大学院医系科学研究科 皮膚科学 教授

- ①広島県    ②アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、皮膚瘙痒の病態解明
- ③テニス    ④ひとにやさしい、自然にやさしい

令和4年11月1日付で広島大学 大学院医系科学研究科 皮膚科学 教授に就任いたしました。私は平成12年に広島大学を卒業し、同年広島大学 医学部 皮膚科学教室に入局しました。入局後は、基礎研究ではアトピー性皮膚炎と皮膚瘙痒の病態解明を、臨床ではアトピー性皮膚炎の疫学調査を行い、アトピー性皮膚炎診療ガイドラインの作成委員も務めてまいりました。また、最近では、重症熱傷などの皮膚潰瘍に対する間葉系幹細胞を用いた新規治療の開発にも力を入れています。これらの分野について国内外の研究室と協働しつつ、広島発の情報を発信し、皮膚科学の発展に貢献したいと思っています。当教室との共同研究に興味がある方はお気軽にお声がけくださいませ。皆様のご支援とご指導をよろしくお願いいたします。



## 就任のご挨拶

小川 恵子    大学病院 漢方診療センター 教授  
\*協力講座名「漢方医学」

- ①愛知県    ②漢方医学の臨床・基礎研究、医史学
- ③硬式テニス、山歩き、釣り、物事の仕組みを調べること    ④人間万事塞翁が馬

広島大学病院 漢方診療センター 教授に就任しました小川 恵子と申します。私はもともと小児外科医として働いていましたが、西洋医学的治療だけでは乗り越えられない多くの問題を目の当たりにし、臨床の幅を広げられないかと模索するうちに漢方医学を専門とするようになりました。漢方医学は3千年以上の歴史があり、特に広島は江戸時代以降の漢方医学の体系を確立した吉益 東洞 (1702-1773) の出身地としても有名です。

漢方医学は、顔色を診てその人の状態がわかる、などの本能的な感覚情報に基づく診断の集大成です。当センターでは漢方薬や鍼灸の治療効果のみならず、漢方診断の客観化に取り組んでいます。

漢方医学は、どのような症状にも対応できる多様性があります。何かお役に立てることや、ご不明なことがありましたら、いつでもお声がけください。